

# 持続可能な社会のための「茶」の新しい利用法の開発と健康効果に関する研究

環境生命科学科  
(茶学総合研究センター)

齋藤 貴江子

- 連絡先 TEL : 054-264-5920 FAX : 054-264-5822
- ホームページ <https://dfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/labs/tsc/>

## キーワード

茶, 機能性食品, 茶殻, 水耕栽培, 発酵茶, 茶花,  
ハチミツ, ミツバチ



食品栄養科学部

茶の健康効果が科学的に解明されたことから、世界中で様々な茶が開発され飲用されていますが、既存の葉の加工品とは異なる、付加価値があり健康効果が期待できる新しい茶の利用法を考案しています。茶の未知の可能性を追究し持続可能な社会の構築に貢献するために、以下の様なテーマで研究しています。

### 1. 水耕栽培による茶の根の脳機能改善効果

根の抽出物を老化動物に与えると認知能力低下の改善と寿命の延長効果が確認されたことから、茶の根の新しい有効成分の発見や機能性素材としての利用が期待されます。

### 2. 乳酸菌を用いた発酵茶の開発とその健康効果

乳酸菌の違いによってレアな発酵茶ができることがわかりました。機能性成分を高濃度になり、抗酸化活性の高い発酵茶の健康効果について研究を継続しています。

### 3. 放棄茶園等を有効利用した茶の花のハチミツ生産

茶の花のハチミツには、テアニンが含まれていることを明らかにしました。茶の花のハチミツを生産する環境とシステムを構築し、既存の茶園の有効利用により茶産業の活性化を目指しています。

### 4. 茶殻を用いた乳酸発酵機能性食品の開発

複数回溶出後の茶殻を用いて乳酸発酵を行いました。その結果、発酵後の茶殻の浸出液中に高い抗酸化活性があることを確認しました。新たな茶殻の有効利用として期待されます。

茶樹はユニークな特性を持ち、多くの機能性成分を含む非常に興味深い植物です。これらの研究を通して、日本が誇る茶の魅力を世界に発信しています。

## 水耕栽培による茶樹の生育



香りのよい花



鮮やかな新芽



成長期の根

## アピールポイント

茶に関する研究を総合的に行うだけでなく、ユニークな視点で対応します。また、ミツバチやハチミツに関しての出張講義も致します。是非お問い合わせ下さい。